

第1号議案資料

2022年度の活動報告



1

1. 各種会議の開催

- 委員総会
 - 2022年6月29日(水) 13時～15時
大阪市環境局第1・第2会議室(あべのルシアス 12階)
 - 【報告】
 - ・2022年度 役員及び委員の変更について
 - 【審議事項】
 - ・第1号議案 2021年度 活動報告
 - ・第2号議案 2021年度 収支決算及び会計監査
 - ・第3号議案 役員の選任
 - ・第4号議案 2022年度 活動方針・事業計画(案)
 - ・第5号議案 2022年度 収支予算(案)
 - 事務局原案どおり承認されました。
 - 【報告事項】
 - ・なにわエコウェブ33号
 - 【情報提供】
 - ・2022 大阪市環境フォトコンテスト
 - ・生きものすごいぜ！夏休み特別クエスト in おおさか

2022年度

なにわエコ会議

2

2

- 第1回 企画・運営委員会 (オンライン開催)
 - 開催日 2022年6月15日(水)
 - 議題 ・2022年度 委員総会について
(1) 委員総会の議案 (2) 委員総会の進行
 - 報告 ・エコウェブ33号
- 第2回 企画・運営委員会 (対面・オンライン・書面開催)
 - 開催日 2023年2月7日(水)
大阪市環境局第2会議室(あべのルシアス 12階)
 - 議題 ・2022年度の活動について
・2023年度活動方針・事業計画(概案)・課題について
・2023年度 暫定予算(案)及び事務局委託について
 - 報告 ・TEAM EXPO 2025 共創パートナーについて
・エコウェブ34号
- 事務局会議 (毎月開催・オンライン開催)
- 部会 (毎月又は適宜開催)

2022年度

なにわエコ会議

3

3

2. 全体活動

- ・ 2022年度事業計画(重点事項)
- ・ 2022年度全体活動
- ・ 環境ふれあいひろば in 中央
- ・ 第6回 なにわエコ会議賞

2022年度

なにわエコ会議

4

4

2022年度事業計画(重点事項)

- ① 情報発信を強化し、会員団体・役員団体や環境活動団体との連携を行うとともに、なにわエコ会議の魅力や知名度を高め、子どもや学生など若い世代の参加を促進し、会員数や活動参加者の増に努めていきます。
- ② 「なにわエコ会議賞」を活用し、さまざまな環境活動を積極的に実践している個人や団体を応援し、連携していきます。
- ③ 区役所などのイベント主催団体との相互協力を強化し、環境出前講座をはじめとする地域での環境教育・啓発活動を積極的に推進します。
- ④ 地球温暖化防止やプラスチックごみ削減に向け、市内で活動する事業者などと協働した取組みを推進するとともに、大阪市環境経営推進協議会と連携を図ります。
- ⑤ 大阪府・市の「プラスチックごみゼロ宣言」を受け、エコバッグを常時携帯する「大阪エコバッグ運動」や「天神祭りごみゼロ実行委員会」に参加するなど、地域ぐるみの資源循環型社会の形成を目指した活動に参画します。
- ⑥ 市内で生物多様性保全に向けて活動する団体と連携、協働を行い、環境や生き物の多様性を守る行動へ繋がっていきます。

2022年度なにわエコ会議5

5

2022年度年度全体活動

各種環境活動団体との連携、環境団体との交流・ネットワーク化

鶴見区民まつり、ガレージセール・IN・OSAKA TOWN、ECO緑日、環境ふれあいひろば in 中央、エコライフセミナー、大阪エコバッグ運動推進キャンペーン、エコアクション21スクール、CO2削減・プラスチックごみ削減コンペ・セミナー、囲わくわく夏休みお助け隊(中止)など

若い世代の参加の促進

大阪市子どもカーニバル(中止)、図書館における水生生物標本展示・講演会、夏休み自由研究「おおさか環境科」、「食べ残しNOゲーム」出前講座(小学校理科特別授業)、淀川自然探検隊、あべのキッズサマープロジェクト、咲洲子どもEXPOなど

環境情報誌の発行

○「なにわエコウェブ」34号(食べ残しNOゲーム特集)・35号(特集)を各8千部発行

ホームページによる情報発信

○セッション(サイト訪問者): 2,746 ページビュー: 5,735 (22/4/1~23/3/31)
○ツイッター発信: 約190回

啓発ツールの活用

○2012年度から大阪市小中学校に導入された副読本「おおさか環境科」の教材編集委員会に参加・協力
○「食べ残しNOゲーム(カードゲーム)」: 小学校(理科特別授業)出前講座の実施など ○エコすごろく ○水生生物標本
○啓発冊子の活用: 「省エネ事例集(企業向け)」「楽しくかしくエコライフ(家庭向け)」 ○クリアファイル、LINEスタンプ

協働

○なにわエコ会議賞: '22年度19名2団体('21年度13名、'20年度16名1団体、'19年度25名、'18年度29団体、'17年度1団体)
○環境団体等と協働した取組み件数: 2021年度 58件 ➡ 2022年度 62件
○協働で取り組む団体数: 2021年度 116件 ➡ 2022年度 135件

2022年度なにわエコ会議6

6

○ 環境ふれあいひろば in 中央 (11/26) (J:COM 中央区民センターホール)
 <COOL CHOICE コーナー(環境省) 同時開催> *大阪湾広域臨海環境整備センター助成事業 (参加者 延べ561名)

(主催) なにわエコ会議 (エコライフ部会、環境教育・啓発部会、環境に配慮した企業部会、生物多様性部会の協働事業)
 (共催) 大阪市環境局、大阪市中央区地域女性団体協議会
 (協力) 中央区役所、(株)コクミン

(内容) ○「2022年度なにわエコ会議賞」表彰式

○ 出展ブース

- ① プラスチックごみについて考えよう (エコライフ部会)
- ② ちょっとおしゃれな脱プラ生活しませんか? (環境教育・啓発部会)
- ③ エコすごろくをしよう (環境教育・啓発部会)
- ④ 副読本 おおさか環境科 (環境教育・啓発部会)
- ⑤ 手回し発電機で電車を走らせよう! (環境に配慮した企業部会)
- ⑥ かわだすき(川の生物を見よう) (生物多様性部会)
- ⑦ 絵本ラゲジタグの製作 (大阪環境カウンセラー協会)
- ⑧ 科学者になろう! ペンタナイト実験!!! (大阪環境カウンセラー協会、大阪市環境経営推進協議会)
- ⑨ 木の葉や枝で自然工作 (シニア自然中学校)
- ⑩ 燃料電池実験+冷熱実験+マイコンメーター復習クイズ (大阪ガス株)
- ⑪ 牛乳パックでびっくり箱をつくらう! (大阪市中央区地域女性団体協議会)

○ 環境省 COOL CHOICE コーナー: Climate Change VRシアター
 ○ 食べ残しNOゲーム(エコライフ部会、環境教育・啓発部会)
 ○ アンケート調査

2022年度なにわエコ会議7

7

開会時
稲嶺一夫 中央区長ごあいさつ
なにわエコ会議賞 記念撮影

食べ残しNOゲーム
プラスチックごみについて考えよう
ちょっとおしゃれな脱プラ生活しませんか

2022年度なにわエコ会議8

8



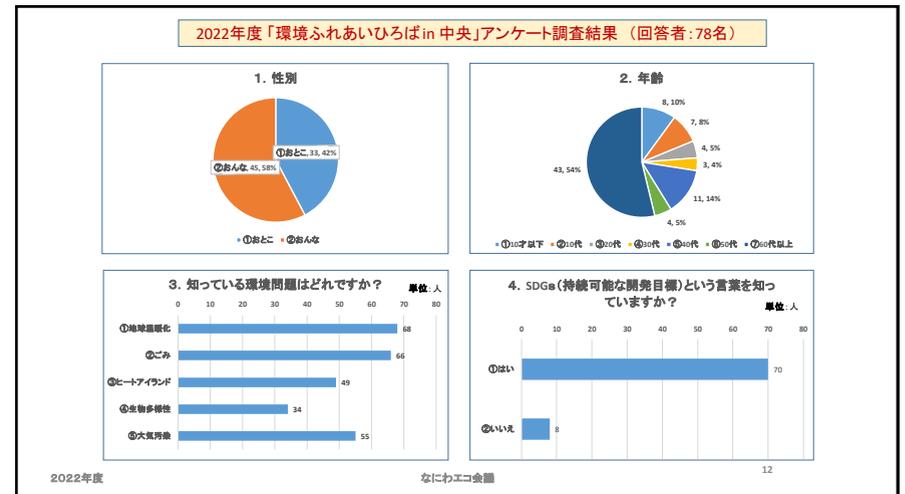
9



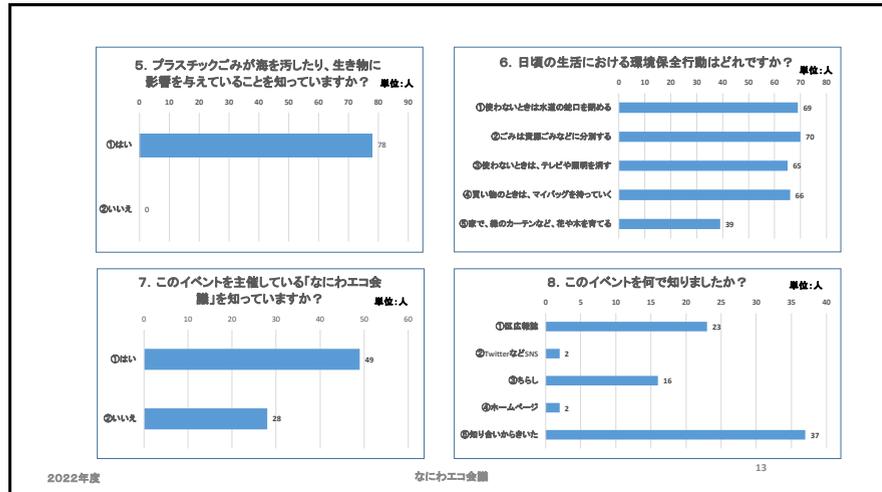
10



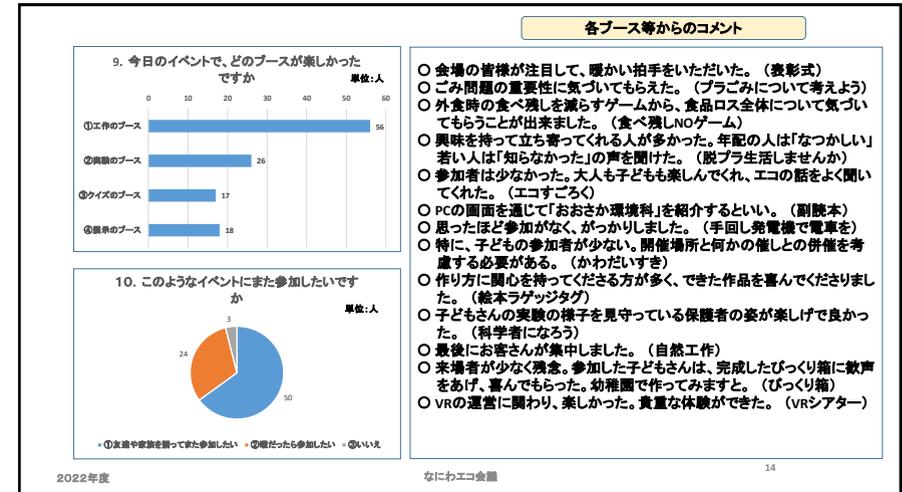
11



12



13



14

第6回 なにわエコ会議賞
 ー 環境活動の実践に積極的に取り組んでおられる方などを表彰する制度ー
 2022年度は19名2団体の受賞者
 「環境ふれあいひろば in 中央」におい表彰式(11/26)を行いました。(敬称略)

夏休み自由研究「おおさか環境科」において、授業の構築・実践・児童のサポートに活躍。また、「淀川探検隊」の取組みにサポートとしてボランティア参加 (7名)

西田幸仁 長谷彩太 長澤幸大 難波直也
高島海月 安田七彩 山下徹也

耕作放棄地を減らす取組みをリードする第一人者として、マコモを耕作することによる田んぼ復活に取組む農力隊で活躍 (1名)

岡 秀郎

2022年度 15

15

生態のわかっていないアサギマダラ(蝶)が蜜をすうため集まるフジバカマを増やす活動など、アサギマダラが飛来する環境を守る方法を学び、実践を継続している (1団体)

ガールスカウト大阪府 第137団

中央区の道路や公園の環境美化・清掃活動(月1回、4カ所)や子どもたちへの声掛けを長年、行っている。(1団体)

大阪市中央区地域女性団体協議会 玉造女性会

2022年度 16

16

かねてより積極的に大阪市エコボランティア活動を行い、自然体験観察園講座補助や小学校での生き物さがしの講師など、生物多様性の保全及び啓発に大いに貢献している (3名)

竹原秀樹 神田哲久 深江隆志



2022年度 なにわエコ会議 17

小学校における特別授業「食べ残しNOゲームで食品ロスを考える」にマスターとして、積極的な助言や「おおさか環境科」や「エコ緑日」の活動報告やSNSを活用したPRIに積極的に協力 (2名)

富田真子 泉 美矩



2022年度 なにわエコ会議 17

17

「障害があっても社会貢献」をコンセプトに、2013年より、「環境ふれあいひろば」や「エコ緑日」などのブーススタッフとして、作業補助など、積極的な取組みやガイドヘルパーとしての積極的な参画 (6名)

岸本都美 阿南暢子 水藻 務 荒井修章
三田俊介 織田祥子



2022年度 なにわエコ会議 18

18

3. 部会活動

- ・ エコライフ部会
- ・ 環境教育・啓発部会
- ・ 環境に配慮した企業部会
- ・ 生物多様性部会
- ・ 事務局関係

2022年度 なにわエコ会議 19

19

エコライフ部会

○ 2022年度 エコライフセミナー「プラスチックごみと野鳥の関係」
～ごみを拾って 野鳥と自然を守ろう～
【国連環境計画 国際環境技術センター(UNEP IETC) & なにわエコ会議 共同企画】
(11/6 南港野鳥園) (参加者 32名)

(主催) なにわエコ会議 (エコライフ部会・生物多様性部会との協働事業)
(共催) 国連環境計画 国際環境技術センター(UNEP IETC)、大阪市環境局、
(公財)地球環境センター(GEC)
(協力) NPO法人 南港ウェットランドグループ

1. 海浜での清掃活動と集めたごみの分析
2. ミニ講義
 - ① 海洋プラスチックごみと野鳥の関係
講師: 和田 太一氏 (NPO法人 南港ウェットランドグループ 理事)
 - ② ごみと環境危機
講師: 本多 俊一氏 (国連環境計画 国際環境技術センター 企画官)
 - ③ 大阪ブルーオーシャンビジョンについて
講師: 高木 慶大氏 (大阪市 環境局 環境管理部 水環境保全グループ)
3. バードウォッチング
指導: NPO法人 南港ウェットランドグループのみなさん
(当日「環境新聞」の取材あり:2022.11.16記事)

2022年度 なにわエコ会議 20



20

2022年度 エコライフセミナー 「プラスチックごみと野鳥の関係」

マイクロプラスチックの分析
プラスチックごみ拾い
バードウォッチング
「海洋プラスチックと野鳥の関係」
「ごみと環境危機」
「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」

2022年度 なにわエコ会議 21

21

アンケート調査結果

Q: 今日の感想をお聞かせください？

①とてもよかった ②よかった
③ふつう ④あまりよくなかった
⑤よくなかった

○ 野鳥園のごみが入り込んでくるところを考えたからごみ拾いに参加しました。とても良い勉強になりました。ありがとうございました。
○ 実際に海洋ごみを拾うことで、ごみの多さ、問題の大きさが実感でき、さらに、ミニ講義を受けることで考えを深めることが出来る。
○ プラスチックごみ解決なくて、環境改善は考えられないことがよくわかりました。ごみにならないよう、使わない、使ったら処理する。
○ ごみのことは良く分かったので自然を守る思った。
○ 大阪湾への漂着ごみを実感し、改めて野鳥園の良を知れた。
○ ごみの量が多くびっくりです。大きなごみでなく、小さなプラスチックごみが多かったです。
○ ごみ拾いは初めての経験だったので、良かったです。
○ 想像以上のごみ人間によって出され、流れ着いていることが分かったので良かったです。普段、家の周辺で見られない野鳥を見られ、良かったです。
○ 陸上のごみ、マイクロプラスチックになることが分かった。
○ フィールドワークで実際に流れ着いたごみを肌で体感できたこと。

2022年度 なにわエコ会議 22

22

この催し(イベント)を主催しているなにわエコ会議をご存じですか？

①知っている ②知らなかった

この催し(イベント)を共催しているUNEP IETCや地球環境センターをご存じですか？

①知っている ②知らなかった

この催し(イベント)を何で知りましたか？

①チラシ
②なにわエコ会議IP
③なにわエコ会議Twitter
④UNEP IETCや地球環境センターからの案内
⑤なにわエコスタイル
⑥知人から聞いた
⑦その他

2022年度 なにわエコ会議 23

23

○ エコライフセミナー 出前講座
(9/5 福島女性会 9/13 平尾女性会 9/26 吉野女性会) (参加者 約170名)

○ テーマ : ① 老いに品格を加える
② 気候変動により、私たちの生活はどう変わるか
③ 循環型社会とは、何をすることか

➡ 市内3カ所の女性会の依頼により、出前講座を行う。皆さん熱心に受講されていました。

○ 大阪エコバッグ運動推進キャンペーン : 「環境教育・啓発部会」の項
— 大阪市環境局、光洋(事業者)、環境教育・啓発部会、エコライフ部会との協働—

2022年度 なにわエコ会議 24

24

環境教育・啓発部会

○ **大阪エコバッグ運動推進キャンペーン** (3/11 KOHYO 阪急三国店)
 一市環境局、光洋(事業者)、エコライフ部会、環境教育・啓発部会との協働—
 ・「大阪市レジ袋削減協定」に基づくキャンペーンの実施
 ・スーパーマーケット等の店頭において「常時、マイバッグを携帯する運動」を実施

○ **区等他団体主催のイベントに参加・協力(出展)**
 ○ **鶴見区民まつり** (10/2 鶴見緑地公園 ハナミズキホール) (生物多様性部会との協働)
 (参加者 647名)
 (主催) 鶴見区民まつり実行委員会 鶴見区役所
 (内容) 「エコすごろく」⇒ 親子で参加が多く、生活を見直す機会になった。
 ・胸の止まったマスの文章を大きな声で読む子どもも。
 「川だいき」⇒ 水生生物の標本には、質問も多く、スタッフも大忙し。
 ・昔は身近にいくらでもいた。(標本を見て)

○ **エコ織日** (11/12 鶴見緑地公園内) (生物多様性部会との協働) (参加者 211名)
 (主催) 大阪市環境局 (協力) 環境事業協会・ネイチャーおおさか共同企業体
 (内容) 「エコすごろく」⇒ 大人だけの参加も結構あり、関心の高さを感じました。
 ・プラごみの話を加えたが、小学生も熱心に聴いていた。
 「水生生物標本展示」⇒ 質問が相次ぎ、説明に追われた。実体顕微鏡を投入し、一層見学者の興味を引くことができました。

2022年度 なにわエコ会議 25

25

大阪エコバッグ運動推進キャンペーン

鶴見区民まつり

エコ織日



2022年度 なにわエコ会議 26

26

○ **あべのキッズサマープロジェクト** (8/2 阿倍野区役所) (参加者 約100名)
 (主催) 阿倍野区役所 (出展) なにわエコ会議
 (内容) 「電気のはなし」+「手回し発電機で電車を走らせよう」
 ⇒ 小さな子どもさんが多かったです。みな楽しく遊んでいました。
 ・電気の話は、分かりやすく、ゆっくりとしました。しっかり聞いてくれました。
 ・電気の大切さを知り、節電に努めてくれることと思います。

○ **ガレージセール・イン・OSAKA TOWN** (11/3 大阪城公園 太陽の広場) (参加者 99名)
 (主催) 大阪市環境局 (協力) 廃棄物減量等推進員 (出展) なにわエコ会議
 (内容) 「エコすごろく」
 ⇒ 沢山の子どもたちが訪れ、楽しんでくれました。

○ **咲洲子どもEXPO** (11/5 ATC) (参加者 190名)
 (主催) 咲洲子どもEXPO実行委員会 (出展) なにわエコ会議
 (内容) 「自然工作」(いぬ・ニワトリ・パンダ・クワガタ・カブトムシ・トリの巣)
 ⇒ 大変好評で多くの参加を得ました。順番待ちも。

2022年度 なにわエコ会議 27

27

あべのキッズサマープロジェクト

ガレージセール・イン・OSAKA TOWN

咲洲子どもEXPO



2022年度 なにわエコ会議 28

28

○ 夏休み自由研究 おおさか環境科 (8/6,7) (参加者 45名)
 *(公社)大阪府産業資源循環協会助成事業



(主催) なにわエコ会議 (環境教育・啓発部会、生物多様性部会との協働)
 (共催) 大阪環境カウンセラー協会、大阪公立大学 環境保護・国際協力サークル CHOVORA!!

(内容) 大阪府が市立小中学校に配布している副読本「おおさか環境科」の中より、酸性雨・水問題・生物多様性・ごみ減量に注力してカリキュラムを構成 (4コマ: 2時間/コマ)
 講師: CHOVOORA!! (大阪市立大学) 監修: 大阪カウンセラー協会 環境カウンセラー

- ① 「身近な環境問題: 酸性雨って何?」
 小学生にもわかるpH調べ、研究者になったつもりで実験しましょう。酸性雨の仕組みを学ぶ。
 【宿題提出: pHを調べる実験と結果(雨がすっぱいとどうなるの?)】
- ② 「水の大切さ」
 ペットボトルと石と活性炭などを使って、ろ過装置をつくり泥水をきれいな水にします。水の大切さを学ぶ。
 【宿題提出: 手作りろ過装置(きれいな水をつくらう)】
- ③ 「ごみ問題について」
 プラスチックごみを使って、ブルパックカーや小物入れなどを作ります。ごみ問題を学ぶ。
 【宿題提出: プラスチック工作(減らそうごみ)】
- ④ 「生き物の多様性」
 川の中の生き物の役割を学び、水のきれいさに準じる水質指標となる生物のデッサン。ルーペで観察。
 【宿題提出: 生き物のスケッチ(川の中の生き物)】

2022年度 なにわエコ会議 29

29

- 👉 話を聞くだけでなく、実験や観察を通じて、楽しく学べた。
- ・学校に提出できるファイルと作品を持ち帰ることが出来、自由研究の宿題に役立ちました。
- ・大学生のわかりやすい説明、やさしい対応など、評判が良かった。
- ・川にはなかなか行けないので、参加してよかった。
- ・当日、直前のキャンセルが多くあった。キャンセルの連絡方法の検討が必要。





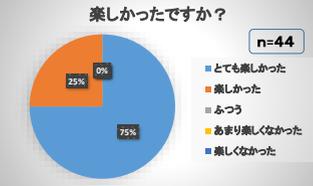



2022年度 なにわエコ会議 30

30

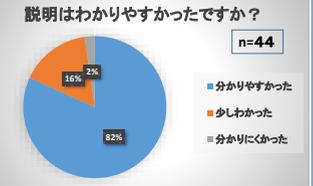
アンケート調査結果 (児童)

楽しかったですか?



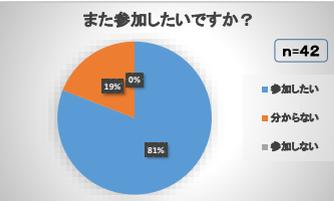
- とても楽しかった
- 楽しかった
- ふつう
- あまり楽しくなかった
- 楽しくなかった

説明はわかりやすかったですか?



- 分かりやすかった
- 少しわかった
- 分かりにくかった

また参加したいですか?



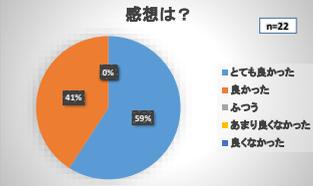
- 参加したい
- 分らない
- 参加しない

2022年度 なにわエコ会議 31

31

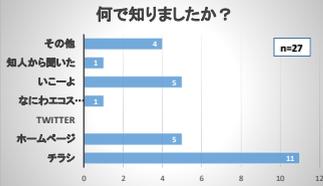
アンケート調査結果 (保護者)

感想は?

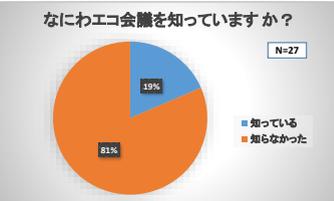


- とても良かった
- 良かった
- ふつう
- あまり良くなかった
- 良くなかった

何で知りましたか?



なにわエコ会議を知っていますか?



- 知っている
- 知らなかった

2022年度 なにわエコ会議 32

32

自由意見

児童	保護者
<ul style="list-style-type: none"> ○ 実験が楽しかった。 ○ 大学生がわかりやすく説明してくれた。 ○ 色が変わるのが、面白かった。 ○ ろ過装置に入れるものの順番を考えるのが楽しかった。 ○ どうしたら水がきれいになるのか分かった。 ○ 大学生のアドバイスが、嬉しかった。 ○ いろいろ試して失敗もあったけど、楽しかった。 ○ 3Rについて、よくわかった。 ○ 車作りが楽しかった。 ○ お姉さんたちが、やさしかった。 ○ 観察して絵を描くのが、楽しかった。 ○ 分かりやすくて、いろんなことが知れた。 ○ 生物のつくりが、よくわかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 予想しながら実験でき、興味を持っていた。 ○ 説明がわかりやすかった。 ○ 学生さんたちが、親しみやすかった。 ○ 水の大切さ、使用量、水不足について学べた。 ○ 子どもが楽しそうにしていた。 ○ 子どもがあせらず、自由にできた。 ○ 自由研究の宿題に丁寧だった。 ○ 学習障がい児だが、学生が丁寧に対応してくれた。 ○ 川にはなかなかいけないので、参加してよかった。 ○ 生物の役割について、学べた。 ○ 知らないことが、知れた。幅広い話が聞けた。 ○ 子どもにはちょうどいい。

33

「食べ残しNOゲーム」出前講座 (9~11月) (参加者 284名)
 (なにわエコ会議・大阪環境カウンセラー協会・大阪市立小学校6校との協働)

■ 2022年度「理科特別授業」として実施
 ・「食べ残しNOゲーム」(カードゲーム)を通じ、食品ロスについて楽しく学び、加えて、途上国の食糧危機やSDGsについても学びます。
 ・身近な生活の中での食品ロスに気づき、地球環境を守り、世界から食糧難を無くすため、自分は何ができるのかを友達と一緒に考えます。

■ 参加校と実施回数(11回)、受講児童数(284名)

学校名	回数	児童数
① 豊崎本庄小学校 (11/1)	2	56
② 鶴町小学校 (9/6)	2	36
③ 大開小学校 (10/18)	2	56
④ 池島小学校 (9/12)	1	16
⑤ 出来島小学校 (11/10)	1	37
⑥ 田辺小学校 (10/5,7)	3	83

① あいさつ スタッフの紹介
 ② ゲームの説明・練習・本番
 ③ 講義:食品ロス:谷美也子氏
 グループディスカッション(食品ロスを減らすために、私たちは何ができるのか)
 ⑤ グループで出した意見の交流

2022年度 なにわエコ会議

34

2022年度 なにわエコ会議

35

アンケート調査結果(児童) (n=272)

ゲームについて (n = 272)

楽しかった	75%
まあまあ	21%
楽しかった	4%

分かったこと (複数回答) 単位:人

SDGs	144
食べ残しを減らす	134
食品ロスを減らす	104

何ができるか (複数回答) 単位:人

野菜の皮など食べられるところは食べる	34
好き嫌いなく	49
食べられる量だけ注文する	123
余計なものを買わない	142
食べ残しをしない	155

2022年度 なにわエコ会議

36

2022年度 アンケート調査結果(児童・自由意見)

分かったこと

- ・ 10人に一人が食べ物に困っている
- ・ 食品ロスは一人当たりおにぎり1個分
- ・ フードバンク、ドギーバッグ、WFPのこと
- ・ 恵方巻などの予約販売
- ・ 貧しい国はアフリカに多い
- ・ 食品ロスの意味、出る理由
- ・ 食品ロスは年々減っている
- ・ 消費期限が過ぎたものは食べたらダメ
- ・ 食べ物を捨てたら、よその国が貧しくなる
- ・ 箱がちょっと壊れただけで捨てられる
- ・ 紛争のある国がある

何ができるか

- ・ 少しずつ盛って何度もおかわりをする
- ・ 玉ねぎの皮を掃除に使う
- ・ お持ち帰りをする
- ・ 食べられない子 pensando、嫌いなものも食べる
- ・ 家族や周りの人に伝える
- ・ 肥料にする
- ・ すぐに食べる時は消費期限が早いものから買う
- ・ 消費期限の近いものから食べる 買ったらすぐ食べる
- ・ 自分の食べられる量、アレルギーを知っておく
- ・ ペットのエサにする
- ・ 家にあるものを確認してから買い物に行く
- ・ 新聞などで食品ロスのことを広める
- ・ 家族や周りの人に呼び掛ける
- ・ SDGsを深く調べる
- ・ 食べ残しを次の料理に利用する
- ・ 世界中の人々で取り組む

37

○ 自主学習会の実施 (環境教育・啓発部会)

- 施設見学: 舞洲ごみ焼却施設 (5/24 参加者 7名)
- 研修会(大阪市出前講座) (7/26 参加者 8名)
「海洋プラスチックと大阪市の水環境について」
- 施設見学: 舞洲スラッジセンター (10/26 参加者 6名)
- 施設見学: 大阪市防災センター (12/20 参加者 6名)
- 研修会(気象予報士) (2/28 参加者 15名)
「地球温暖化、異常気象と気候変動」



2022年度 なにわエコ会議 38

38

環境に配慮した企業部会

○ エコアクション21スクール(参加者 第1スクール:9社 第2スクール:6社)

- ・ エコアクション21(環境省策定の環境経営システム)の認証取得及びレベルアップのための4日間のスクール(集合勉強会)です。
 - 第1スクール 6/8, 7/13, 8/10, 9/14 オンラインスクール
 - 第2スクール 10/12, 11/9, 12/14, 1/12
- ・ エコアクション21スクール説明会の実施 (5/11)

👉 エコアクション21認証取得を目指して参加した方、レベルアップのために加された方、それぞれですが、皆さま熱心に受講されていました。




環境経営システム エコアクション21スクール

2022年度
なにわエコ会議(AE)1部会
(EAT)環境とスクールの統合)

2008年によるオンライン

2022年5月11日10時~11時

2022年度
EAT1部会
EAT2部会

講師
大阪府環境政策推進課 環境政策課長 藤田 浩一

2022年度 なにわエコ会議 39

39

○ 2022年度 CO2削減コンペ・プラスチックごみ削減コンペ
(共催: 大阪市環境局 協力: 大阪市環境経営推進協議会)

- ・ 地球温暖化の緩和、エネルギーコスト削減とプラスチックごみ削減に向けた事業者の取組として、「CO2削減コンペ」と「プラスチックごみ削減コンペ」を実施し、自主的積極的な推進を期待するとともに、優秀な事業者を表彰しました。
- ・ 取組期間: 2022年7月~9月(3か月間)
- ・ 応募事業者: 23事業所
- ・ 審査会: 2023年1月19日(木) (オンライン審査会)
- ・ 結果: 次 表(大賞、優秀賞: 大阪市長・なにわエコ会議会長の連名表彰): 2事業所
(優良賞~プラごみ削減努力賞: なにわエコ会議会長表彰): 9事業所
【総CO2削減量: 80,298 kg-CO2/3ヶ月/23事業所】
- ・ 表彰式: 2023年3月22日(木) 14:00~16:30 (おおさかATCグリーンエコプラザ) (参加者 33名)
- ・ セミナー
 - (1) 「大阪市の環境施策について~地球温暖化対策の最近の動向と大阪市の取組み~」
講師: 三原 真様 (大阪市環境局環境政策課長)
 - (2) 「取り組み事例紹介」: 梅南鋼材株式会社 取締役 藤井 勉様 (コンペ受賞事業者)
 - (3) Q&A 及びコンペ審査委員講評




2022年度 なにわエコ会議 40

40



2022年度
なにわエコ会議
CO₂削減・プラスチックごみ削減コンペ

表彰式・セミナーのご案内

2023年3月22日(水)14時～16時30分

お誘い合わせのうえにてご参加ください

2022年度
なにわエコ会議
CO₂削減・プラスチックごみ削減コンペ

表彰式・セミナーのご案内

2023年3月22日(水)14時～16時30分

お誘い合わせのうえにてご参加ください

41

2022年度 なにわエコ会議 CO ₂ 削減・プラスチックごみ削減コンペ表彰者一覧表		
表彰名	事業者名	表彰理由
大賞	梅南鋼材(株)	工場レイアウトや動線の見直しによる生産性向上、排出係数ゼロ電力への切替、紙資源回収料金による自社ロゴ入りエコバッグの作成・配布によるレジ袋等のプラスチックごみ削減に効果を出している。
優秀賞	東洋製鉄(株)	週末運社前にエアコン動力ブレーカーの遮断オフ、最小限の空調の使用、業務効率化による定時退社の推進など、従量電灯及び動力の昨年度実績を大きく下回る結果を出している。
優良賞	川田紙工(株)	照明のLED化、製造部の予定管理や品質向上、稼働率向上の取組みや空調温度の適正化、不要照明の消灯などの継続実施により、削減目標を大きく上回る結果となっている。
努力賞	中央精機(株)	作業時間の短縮、デマンド最大値の管理、電力会社の変更、電力使用量の見える化、休日の待機電力の削減などのCO ₂ 削減、紙製ストローの使用、プラスチック製コンテナのリサイクルなどの実施。
	(株)ビクトン工業	運転設備見直しで待機電源を落とすなど、未使用の機器電源のカットや空調温度の遵守などにより、各管理部門などすべての部門で、前年を下回り、削減目標を達成している。
プラスチックごみ削減努力賞	(株)サクラクレパス	照明のLED化はCO ₂ 削減に一定の成果、無駄な蒸気削減のための配管濡れの点検修理と保温材の装着に成果を上げている。プラスチックごみ回収箱の設置による分別回収の徹底。
	(株)ミューバック・オザキ	全工場照明のLED化に成果を上げていることや工場内作業と出荷までの業務連携強化による時間効率改善、電気使用量グラフの掲示による社員意識の向上に効果を出している。
	(株)KDP	みんなで電力CTIONを実践、事務所の等のLED化やお客様へのLED化提案、みんなで燃費ACTIONでエコ運転と公共交通機関の利用、「買わない 捨てない 持ち込まない」等マイ弁当・ボトル・箸等の実践
プラスチックごみ削減努力賞	日麗化学(株)	エコバッグ使用による社内持ち込みやバレットやフレコンバッグの再利用先の開拓によるプラスチックごみの削減とこれによるスペースの有効活用ができるようになっている。
	GF(株)	自社製品であるVAM(野菜を主原料とする100%生分解性、可食性の発泡スチロール食品容器代替品)の普及により、資源循環型社会の構築に貢献している。
プラスチックごみ削減努力賞	西岡化建(株)	ペットボトルやキャップ、缶の分別回収やエコバッグの持参、マイ弁当、マイ箸の使用、紙製ストローへの切り替えなど、捨てるプラスチックの削減と環境保全、資源の節約に貢献できる活動を行っている。

42



2022年度
なにわエコ会議
CO₂削減・プラスチックごみ削減コンペ

表彰式・セミナーのご案内

2023年3月22日(水)14時～16時30分

お誘い合わせのうえにてご参加ください

2022年度
なにわエコ会議
CO₂削減・プラスチックごみ削減コンペ

表彰式・セミナーのご案内

2023年3月22日(水)14時～16時30分

お誘い合わせのうえにてご参加ください

受賞者の皆様 おめでとうございます!

43



2022年度
なにわエコ会議
CO₂削減・プラスチックごみ削減コンペ

表彰式・セミナーのご案内

2023年3月22日(水)14時～16時30分

お誘い合わせのうえにてご参加ください

2022年度
なにわエコ会議
CO₂削減・プラスチックごみ削減コンペ

表彰式・セミナーのご案内

2023年3月22日(水)14時～16時30分

お誘い合わせのうえにてご参加ください

ごあいさつ(なにわエコ会議 花嶋会長)

ごあいさつ(大阪市環境局 岡本環境施策部長)

事例発表(梅南鋼材(株) 藤井取締役)

セミナー(大阪市環境局 三原環境施策部長)

44

生物多様性部会

○ 図書館での水生生物標本展示・講演会
(なにわエコ会議・大阪市立3図書館との協働)

(内容) 大阪市内3図書館において、子どもなどの来場者に水生生物の標本展示と講演を行い、水生生物の多様性を伝える。

- ・ケース展示「川だいきー生物の標本と写真」
- ・講演会「川とむしのおはなし」

(図書館別展示・講演会日程)

図書館名	展示	講演会
城東区	7/22~8/17	8月14日(日)
旭区	8/19~9/14	8月21日(日)
淀川区	10/21~11/17	11月6日(日)



講演会



水生生物標本展示

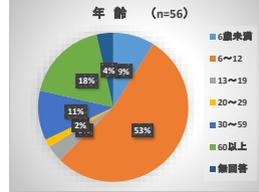
2022年度なにわエコ会議

45

45

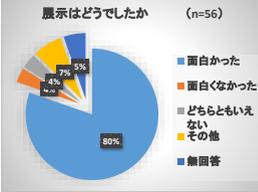
アンケート調査結果

年齢 (n=56)



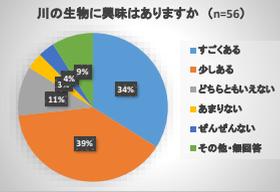
6歳未満	4%
6~12	9%
13~19	18%
20~29	53%
30~59	11%
60以上	7%
無回答	2%

展示はどうでしたか (n=56)



面白かった	80%
面白くなかった	7%
どちらともいえない	4%
その他	3%
無回答	5%

川の生物に興味はありますか (n=56)



すごくある	34%
少しある	39%
どちらともいえない	11%
あまりない	9%
ぜんぜんない	1%
その他・無回答	1%

生物多様性という言葉を知っていますか



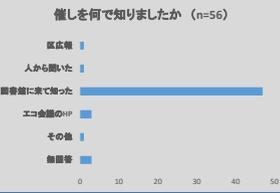
知っている	7%
聞いたことはある	20%
知らない	43%
無回答	30%

生物多様性を守る行動をしていますか



している	7%
していない	20%
分からない	45%
無回答	28%

催しを何で知りましたか (n=56)



区広報	100%
人から聞いた	0%
図書館に案内された	0%
エコ会議のHP	0%
その他	0%
無回答	0%

2022年度なにわエコ会議

46

46

この展示についての感想(自由意見)
—2022年度水生生物標本展示・講演会(アンケート調査)—

○トノボの赤ちゃんは見たことなかったから興味あった

○スカンアミカがダンゴムシに似ていてかわいかった

○オニヤンマが大きかった

○オニヤンマが好き

○いっぱいの虫がいたから、知らない虫も知れてうれしかった

○展示は現状でいいと思います。

○非常に面白展示です

○オニヤンマの幼虫を見たことはあるけど、こんな形だったということに気づき、一瞬、頭がぐるった

○トカゲなどの爬虫類や脊椎動物も展示してほしい

○標本を見られておもしろかった

○いろんな川の生き物の幼虫が見て良かった

○川の生き物がこんなにいるとは思わなくてびっくり

○いろんな展示品を見てうれしかったし、初めて見た

○水生生物の標本展示が良かったです、もう少し写真があれば更に良かったです

○生き物が好きなので、都会に住んでいるためなかなか見ることが出来ません、このような展示をしていただけると助かります

○いろんな種類があり、面白かった

○講師の話が上手でした

○講師のお話を聞かせてもらい、次回、川に行ったら石の裏も見てみようと思いました、標本を見て興味深かった、ありがとうございました

○始めて見た生物が多くて面白かった

○コウチュウ目のゲンジボタル、福井県ということで拝見し、源氏物語の作者紫式部の実家が福井県だと思い、1,000年以上前だけど、紫式部のみたホテルと一緒にすかとか聞きたくなりました、思ったより大きいように思いますが、成虫になると縮むのでしょうか

○魚以外にも川の生き物の存在に改めて知ることができました、ありがとうございました

○コメントの字がもう少し大きいといいですね

2022年度なにわエコ会議

47

47

○ 淀川自然探検隊 (参加者 49名)
— 淀川河口 —

***セブン-イレブン記念財団助成事業**

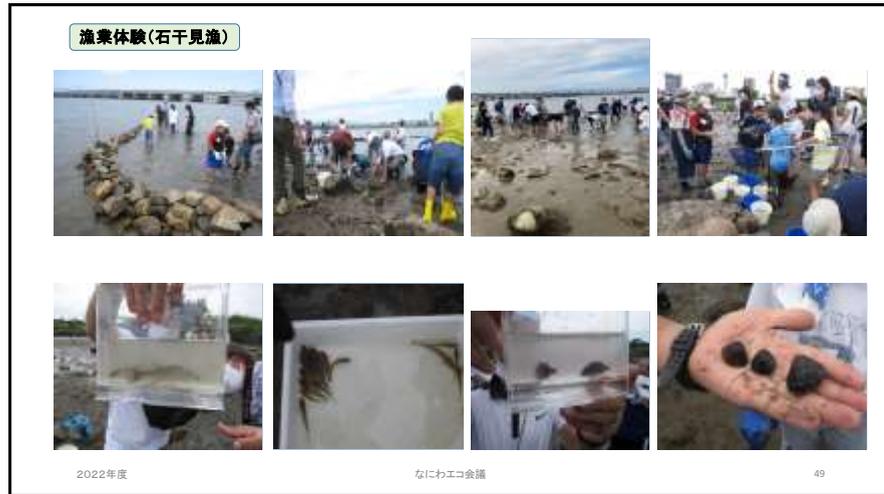
(主催) なにわエコ会議
・大阪市を流れる淀川にいろんな生物がすんでいます。
・身近な淀川の生物を観察してみましょう。
・自分が暮らしている近くの生物に関心を持ちましょう。

- 漁業体験(石干見漁) (8/28) (参加者 24名)**
(共催) 大阪市漁業協同組合、大阪環境カウンセラー協会(協力)CHOVORA!!
・「石干見漁」は、あらかじめ浅い場所の周りに石垣を設置。満潮時には水面より下になり、魚が自由に出入り。干潮時には石垣は水面上。石垣の出入り口は1カ所しかなく、出口に網を仕掛け干潮時に、網または手づかみで捕まえます。
- 鳥類観察 (9/17 1/21) (参加者 11名)**
(協力) 南港ウェットランドグループ
・淀川河口敷で野鳥やいろいろな生き物を探してみよう。
- ハゼ釣り体験 (9/4 2回) (参加者 14名)**
(共催) 大阪市漁業協同組合
・船に乗ってハゼ釣りにトライします。魚は持ち帰り自由。

2022年度なにわエコ会議

48

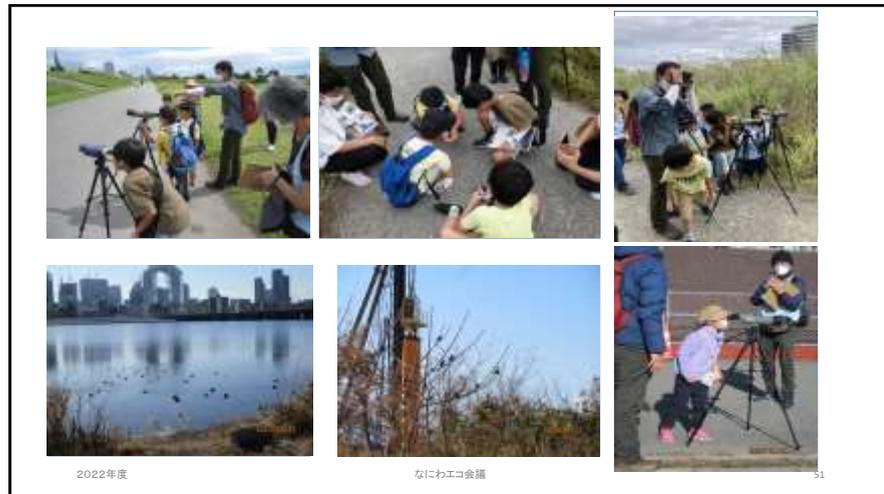
48



49



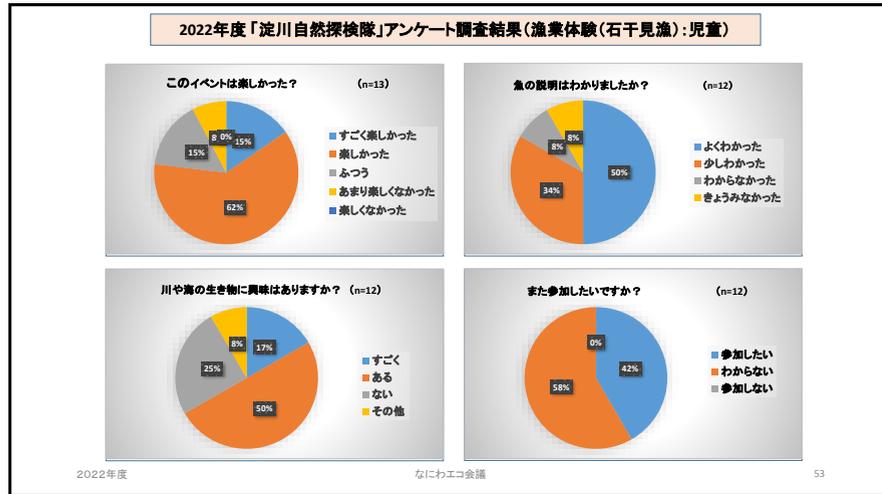
50



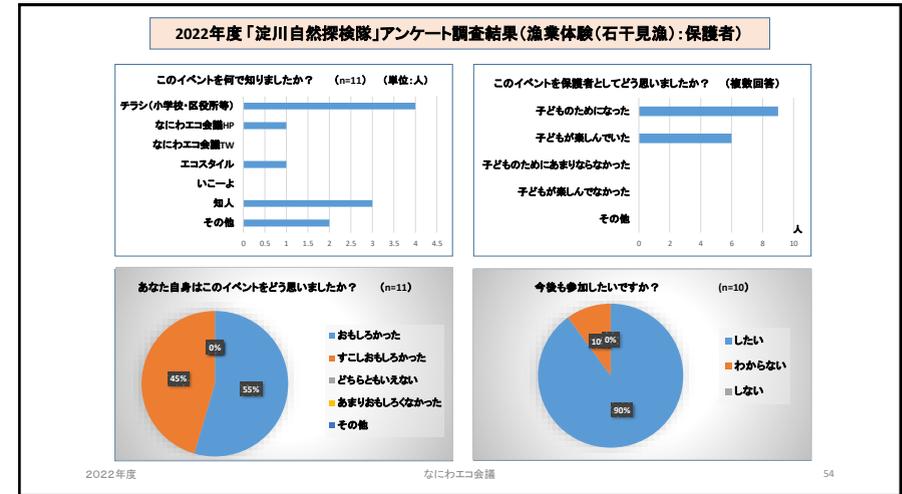
51



52



53



54

イベントに対する意見・感想・今後の希望(アンケート調査結果)

【漁業体験(石干見漁)】	【鳥類観察】	【ハゼ釣り体験】
<ul style="list-style-type: none"> ○ 楽しかったので、また、参加したい。 ○ すごく楽しかった。 ○ 楽しかったけど、シャワーがあれば、良かったです。 ○ 大学生のお兄さんが面白かった。 ○ 淀川の魚について、身近に知ることができて良かったです。 ○ 近くに住んでいても、なかなか淀川に入ることがないので、楽しかった。もう少し、涼しい時期にあるとなお嬉しい。 ○ 普段なかなか体験させてあげられない自然体験ができ、子どもたちも夢中になっていました。ありがとう。 ○ 普段できない体験ができて良かったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ いろんな鳥が見られて楽しかった。珍しい名前の鳥も知れた。 ○ 普段気にすることのない鳥たちの観察が楽しかった。 ○ 詳しい専門家がおられたので、説明がわかりやすかった。 ○ かわいい鳥がはっきり見れたとき、嬉しそうだった。少し長かったみたいです。 ○ 生き物の観察等が好きなので、このようなイベントに参加したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な生物に触れられる経験があつたらいいなと感じました。 ○ 釣る対象がハゼだったのは初めてだったので、楽しかったです。 ○ 釣れなかったことと、船に酔ってしまったので、テンションが低かったです。 ○ 川から大阪が見られたこと。 ○ 初めての釣り体験でした。 ○ ガールスカウトなので、希望者だけでなく、みんなが参加できればいいかと思いました。 ○ 今回のように、子どもと楽しめるイベントがあればと思います。 ○ 今後も企画してほしいです。

2022年度 なにわエコ会議 55

55

- ### ○ イベントへの参加・出展
- ① 夏休み自由研究 おおさか環境科 (8/6,7) 「生き物の多様性」:再掲
(環境教育・啓発部会との協働)
 - ② 鶴見区民まつり (10/2) 「川だいすき」:再掲
(環境教育・啓発部会との協働)
 - ③ エコ曜日 (11/12) 「生物多様性と川の環境を考えよう」:再掲
(環境教育・啓発部会との協働)
 - ④ 2022年度エコライフセミナー(11/6) 「プラスチックごみと野鳥の関係」～野鳥園でのごみ拾いと野鳥観察～:再掲
(エコライフ部会との協働)
- 2022年度 なにわエコ会議 56

56

事務局関係

「TEAM EXPO 2025」プログラム/共創パートナーに登録 (2023.1.10)
【SDGsの達成に向けた、次世代をはじめ市民等の環境学習支援】

(未来への宣言)

脱炭素社会や循環型社会、生物多様性など、持続可能な社会を、次世代に引き継いでいくことは、現代世代の重要な使命です。

(TEAM EXPO 2025 プログラム)
 大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現し、SDGsの達成に貢献するため、多様な参加者が主体となり、未来社会を共に創り上げていくプログラム。

(支援したい共創チャレンジ)

- 子ども向け環境学習の企画・運営・実施支援
- 学習ツール・場の活用支援
 - ・エコすごろく、・自然工作
 - ・食べ残しNOゲーム、
 - ・水生生物標本、観察
 - ・実験 ・環境紙芝居、
 - ・手回し発電、
 - ・プラスチックごみ清掃活動
- いのち輝く未来社会のため、地球の健康・人の健康を維持・発展させる各団体との啓発活動

(共創を希望する方々)

- ・なにわエコ会議の参画団体等の環境学習や体験を共創します。
- ・大阪地域のどなたでも、環境学習や体験を希望される団体等共創を希望します。

2022年度

なにわエコ会議

57

57

○ 他の環境団体主催の取り組みへの協力

- 大阪ブルーオーシャンのための「クリーンリバー大作戦」(大川沿い)**
 (主催) 天神祭ごみゼロ実行委員会 (なにわエコ会議は天神祭ごみゼロ実行委員会に参画)
 ① 水辺のごみ拾い大作戦 (ごみのない美しい大川と大阪湾のために)
 ② マイボトル必携給水大作戦 (プラスチックごみ削減のために)
- ごみ減量連続セミナー「SDGsとゼロ 웨스트」**
 (主催) 大阪ごみ減量推進会議・大阪市・(NPO)ごみゼロネット大阪 (協力) なにわエコ会議
 ① SDGsは何を目指すのか ② 国内外におけるリサイクル動向と企業の動き ③ 海洋プラスチックごみ 最前線のまちから
 ④ 上野町ゼロ 웨스트センターから発信するSDGs ⑤ SDGsと私たちの暮らし
- 飲み水と環境を知るセミナー「マイボトルでSDGs ～水道水の良さを知らう～」**
 (主催) Refill(リフィル) 大阪 (共催) 大阪府民環境会議他3団体 (協力) なにわエコ会議
 ① そのまま飲める日本の水道 ② 先進事例の報告 ③ 無料給水スポットを増やそう・利用しよう
 ④ クイズ de SDGs (環境クイズ大会)

2022年度

なにわエコ会議

58

58

○ ネットワーク会議等への参画

- おおさか環境ネットワーク会議 (大阪市) : 事務局**
 ・市内を活動拠点とする活動団体間のネットワークを拡充するとともに、活動の場を提供するなど各団体の活動の活性化を図る。(オンライン開催)
 ・例: ECO曜日への出展など
- 生物多様性保全に向けたネットワーク会議 (大阪市) : 生物多様性部長**
 ・生物多様性に関連する様々な主体(市民、環境NGO/NPO、民間事業者、研究機関、教育機関、行政)が集い、情報を共有し、つながりを広げ、強める。
 ・例: 小学校の生き物さがし報告(レッドリスト掲載種・外来種を確認される)、参加団体の活動報告
- おおさか環境科教材編集委員会 (大阪市) : 事務局長**
 ・環境教育の取組みを一層推進するため、小・中学校における教材「おおさか環境科(副読本)」を編集するため、「おおさか環境科教材編集委員会」を開催し、毎年、内容の充実、更新を図る。(7/4、10/4、12/6-13、12/15)
 ・なにわエコ会議: 編集委員の派遣並びに出前講座メニューの提供など
- こどもポスターコンクール選定委員会 (大阪市) : 環境教育・啓発部、事務局**
 ・テーマ「大阪・関西万博に向けて、まちをきれいにしましょう!」
 ・環境副読本「おおさか環境科」に掲載予定

【中止・不参加となった活動(コロナ禍の影響・天候など)

- 大阪市子どもカーニバル ● 面わくわく夏休みお助け隊 ● 水生生物観察会 ● 河口域水生生物等観察会
- 大阪エコバッグ運動推進キャンペーン ● 戸別訪問相談(省エネ等) ● 南港野鳥園清掃活動

2022年度

なにわエコ会議

59

59

エコパートナー会員の状況

	会 員 数 (2023年3月末現在)	
	2021年度	2022年度
個人会員	40	39
団体、NGO/NPO	8	8
事業者団体	10	9
合 計	58	56

2022年度

なにわエコ会議

60

60